

バリアフリー 小郡のまちで見つけたよ

暮らしを応援するユニバーサルデザインやマーク、バリアフリーのための施設や道具を小郡のまちを歩いて探してみました。



ユニバーサルデザインとは？

一人でも多くの人が快適にくらすために考えられたデザインのことです。年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が利用できるように作られているものです。小さなこころ使いや眼差しがこのようなデザインを生み出しています。

バリアフリーは小郡のまちにもたくさんありました。しかし、それが十分に生かされていない、設置の後のケアがなされていないなど残念な現実もありました。



多目的トイレ

体の不自由な方のための手すりや、幼児に「ちょっと待ってね」と座ってもらえるチャイルドシート、それに簡易ベビーベッド。障がい者だけでなく、子育て中の親子にも優しいトイレです。親子で集まる施設にはぜひ欲しいトイレです。



小郡では市役所や集会所、公園で発見しました。車椅子での散歩や小さなお子さんを連れての外出もひと安心です。

オストメイトトイレ



オストメイトとは直腸がんや膀胱がんなどにより、臓器に機能障害を負い、腹部に人工的に排泄のためのストーマを造設した人のことです。日常の排泄行為に様々な苦勞があります。

このマークはそのオストメイトの方が使用できるよう対応がされているトイレです。小郡市役所や人権教育啓発センターなどにあります。



この部分が凹凸になっています

シャンプー容器のポツポツ(凹凸)はなんのため？

お風呂で髪を洗った時、なんだか泡がたたずに変だな〜と思ったらリンスだったりしたことはありませんか？眼鏡を外していたり、お湯がしたたり落ちてよく見えないなど誰にでもあることです。目が不自由な方にとって手で触って違いが分かるのでとても便利。容器の側面に凹凸があるのがシャンプーです。

アルミ缶のポツポツは？



この部分が点字になっています

「お酒」と点字でかいているんですよ。これでジュースと間違えませんか。

障がい者のための 国際シンボルマークです



障がい者が利用できる建築物、施設であることを明確に示す世界共通のシンボルマークです。

このマークは駐車場で見かけますね。

このスペースは、障がい者の方がスムーズに乗り降りできるように、広めに作られています。また、建物の入り口近くにあり、車から降りての移動ができるだけ少ないようにと考えられています。しかし、この駐車スペースに一般の方が駐車しているのを見かけます。このマークの意味を知ることです。



日本で考案された 視覚障害者誘導ブロック

ものを置いたり、駐輪したりしていませんか？

一般に点字ブロックと呼ばれるものです。三宅精一さんという方が考案したもので、昭和42年に岡山県立盲学校への国道に設置されたのが最初です。細い線状のブロックが「進め」を表し、点状のブロックは「止まれ」を表しています。小郡でもよく見かけます。ただ老朽化したものはめくれるなど危険です。今回



西鉄小郡駅

のまち探検で壊れた点字ブロックを1か所発見しました。こんな時は市役所へご連絡ください。

盲人のための国際共通のマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などにつけられています。



こどもたちのための 図書館スペース

図書館スペース

小郡市立図書館には子どもや小さな子ども連れに使いやすい工夫がされています。このスペースでは、子どもたちが図書館の本をじっくり座って読んでいました。ここでは、お話会も開催されています。



図書館のすみに設置されたベビーベットです。

「小さな子を連れてきたら途中で寝てしまった」そんな時に困ったお母さんたちの経験から実現したのでしょうか。助かりますね。

子どもの背丈に合わせて少し低い書棚になっています。子どもたちが自分で自由に選ぶことができます。

